

LIBRARY No.9 2



ライブラリー

茨城県立神栖高等学校 図書委員会 令和3年9月1日発行

令和3年度県東地区図書委員研修会

6月18日(金)、神栖高校にて、県東地区11校の図書委員生徒が参加する研修会が開催されました。

分科会 A 担当校:波崎高校

課題図書 『天、共に在り アフガニスタン三十年の闘い』



分科会 B 担当校:波崎柳川高校

課題図書 『君と会えたから・・・』



分科会 C 担当校:神栖高校 ビブリオバトル



ビブリオバトルでは本校1年B組 加藤柚さんが紹介した『よくわからないけど異世界に転生していたようです』がチャンプ本に選ばれました

十歳の孤児の少女レンは、身売り同然に悪徳商人に引き取られる途中、乗っていた馬車が盗賊に襲われて崖から落ちた衝撃で、実験中の爆発事故で亡くなった三十代半ばの男性の研究者だった前世の記憶が蘇る。レンは全属性適正の魔法の才能と前世の知識とで新たな魔法を作りつつ、ひとり過酷な異世界を生き抜いていく。



人生を変えた本 おすすめの本

国語科編

佐藤 利恵

太宰治『人間失格』



理由が2つあります。
一つ目は高校生の時にいろいろなことを考え、いろいろなことに挫折感を感じ、「人間ってなんだろう」と考えたときに会ったのが、この本だったからです。
二つ目は高3で理系から文系に変更し、大学入試の面接で好きな本の質問に「人間失格」と答え、「太宰治」についても話しをし、面接官と意気投合し、今の私がいるからです。

俵万智『サラダ記念日』

「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日



日常の中のありふれた瞬間や恋愛の喜びが歌になっています。読んでみると楽しい気分になってきます。

伊藤 翔

藤沢周平『隠し剣孤影抄』



時代劇の小説って何だよと思い読み始めたのがきっかけでした。時代劇のイメージは水戸黄門や遠山の金さん、銭形平次などの勧善懲悪な世界観。読んでみたら救われないダークな内容やものすごいことをしているのにとぼけた様子のキャラクター、登場人物達が描く人情話など心引かれる短編が詰まっていた。時代小説というジャンルを自分にみせてくれた最初の一冊です。

司馬遼太郎『燃えよ剣』

時代小説の鉄板。読めば幕末にちよっと詳しくなる。新撰組が好きになる。土方歳三の生き様に憧れる。そんな作品です。今年また新たに映画化されますので興味がわいた人は映画の前にぜひ原作を読んでみよう。



田崎 瑛一郎

内村鑑三『後生への最大遺物』



この本と出会ったのは、高校3年生の時でした。部活を引退し、何の目標もなく、悠々自適に過ごしていました。そんな私を見かねた父が、私の机にこの本を置いたのを覚えています。私の気持ちを大学受験に向かわせ、文学の世界に誘った一冊だったと思います。

J. D. サリンジャー 訳=野崎孝
『ライ麦畑でつかまえて』



読む時期によって姿を変える不思議な作品だと思います。間を空けて何度も読んでみると、様々な感情が湧いてきます。

加藤 氣吹

大村はま『教えるということ』



この本とは、私が大学生の時に会いました。教育学部に入ったものの、自分の進路に悩んでいた私に、改めて「先生」という仕事に就こうと決意させてくれた一冊です。今でも、壁にぶつかった時には、この本を開き初心を思い出すくらい、私のバイブルとなっています。

梨木香歩『西の魔女が死んだ』



誰もが経験する思春期の、どうにもコントロールできない心の壁に自分を重ね、読むたびに、他人事とは思えずその世界観に浸ってしまいます。「アイ・ノウ (I know)」という言葉はあまりにも有名ですね。

井口 明美

学研『2年生のさんすうのひみつ』以下算数のひみつシリーズ



小学生の頃は、図鑑や学研のひみつシリーズが大好きでよく読んでいました。算数のひみつシリーズを読んでいたおかげで、小学生がつまずきやすい割り算のひっ算や少数の計算を難なくクリアすることができました。中学までは数学が得意だったので、実は数学の先生になりたいと思っていました。

てい先生

『保育士てい先生のつぶやき日誌 きょう、ほいくえんでね・・・!!』



保育園児たちが発した言葉がおさめられた本です。園児たちの純真無垢な発言とにかく癒やされます。